

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

**3 週毎 4 コース予定**

**疾患名 小細胞肺癌**

主治医 \_\_\_\_\_ 指導医 \_\_\_\_\_ HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

スケジュール

		day 1	day 2	day 3
イミフィンジ(デュルバルマブ)	1500 mg/body	↓		
エトポシド	100 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓
シスプラチン	75 or 80 mg/m <sup>2</sup>	↓		

- 【注意】\* 他剤使用時はデュルバルマブ投与前に血管確保用生食にてフラッシュすること。  
 \* デュルバルマブ投与時は 0.2 又は 0.22 μm のインラインフィルターを通して投与すること。  
 \* 体重 30 kg 以下の場合のデュルバルマブの1回投与量は、20 mg/kg とすること。  
 \* 1 日の尿量が 3000 mL 以上になるように調整すること。  
 \* エトポシド投与時は DEHP フリー点滴セットを使用する。  
 \* シスプラチンは遮光のこと。  
 \* 治療前日から翌々日まで通常の飲水に加えて、経口補水液 500 mL を 1 日 2 本飲水すること。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

day 1 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (125 mg) 1C を内服

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② イミフィンジ 1500 mg + 生食 70 mL 点滴静注 60 分(100 mL/時間)
- ◎メインの生食でフラッシュ
- ③ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸 K 10 mEq + 硫酸 Mg 補正液 4 mEq 点滴静注 60 分(500 mL/時間)
- ④ グラニセトロン注 3 mg 側管静注
- ⑤ デキサメタゾン注 9.9 mg (3 mL)+ 生食 20 mL 側管静注
- ⑥ エトポシド + 5%ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 90 分(360 mL/時間)
- ⑦ 20%マンニトール 200 mL 点滴静注 30 分(400 mL/時間)

VP-16+CDDP+Durvalumab 療法(short hydration)

⑧ シスプラチン + 生食 300 mL 点滴静注 120 分(240 mL/時間)

\*生食 200 mL をバッグから前もって抜いておく

⑨ 生食 500 mL + L-アスパラギン酸 K 10 mEq + 硫酸 Mg 補正液 4 mEq  
点滴静注 60 分(500 mL/時間)

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

day 2, 3 抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (80 mg) 1C を内服

- ① 生食 500 mL で血管確保 維持(20 mL/時間)
- ② デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注
- ③ エトポシド + 5 %ブドウ糖液 500 mL 点滴静注 90 分(360 mL/時間)

◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

day 4

- ① デキサメタゾン注 6.6 mg (2 mL) + 生食 20 mL 側管静注

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
イミフィンジ 開始時刻	↓			↓		
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						

	コース			コース		
	day1	day2	day3	day1	day2	day3
月日	/	/	/	/	/	/
イミフィンジ 開始時刻	↓			↓		
エトポシド 開始時刻	↓	↓	↓	↓	↓	↓
シスプラチン 開始時刻	↓			↓		
確認						